



第52回龍ヶ崎市消防ポンプ操法競技大会

―出場選手144人が訓練の成果競う―



優勝した3分団第2部〔砂町・緑町＝写真右〕と第5分団第4部〔貝原塚町＝写真左〕。両チームは10月15日に開催される茨城県南部地区大会（水出し操法）に向けて引き続き訓練を行います

9月17日、市役所北側駐車場で、「第52回龍ヶ崎市消防ポンプ操法競技大会」が開催され、144人の消防団員が日頃の訓練の成果を競いました。

本年度はポンプ車の部に9チーム、小型ポンプの部に18チームが出場し、操作の速さ・正確性、規律の正しさなどを競いました。当日は台風18号の影響であいにくの雨模様でしたが、会場には雨を吹き飛ばすような熱のこもった号令が響き渡っていました。

ポンプ車の部では第3分団第2部〔砂町・緑町〕、小型ポンプの部では第5分団第4部〔貝原塚町〕が優勝を果たしました。

長谷川龍君（大宮小）が 全国小学生陸上で5位入賞

―槍投げの小中学生版・ジャベリックボール投で―

6月に開催された『第33回全国小学生陸上競技交流大会茨城選考会』の「ジャベリックボール投」で優勝を果たした長谷川龍君（大宮小6年）が、8月19日、横浜市で行われた全国大会でも見事、5位入賞を果たしました。

ジャベリックボール投は、陸上競技における槍投げの小中学生版競技で、矢のついた楕円形ボールの遠投距離を競います。

8月16日に市長室を訪れ、県大会の成績報告と全国大会への抱負を語ってくれた長谷川君。「悔いのないように全力を尽くして上位を目指したい」という目標どおり、県大会での記録を上回る大会新記録で5位入賞という素晴らしい成績を残しました。おめでとうございます！



「全国大会では上位を目指したい」という目標どおり、大会新記録で全国5位に輝いた長谷川龍君

東京電力パワーグリッド・大和ハウスも 「まちづくりつなぐネット」で除草活動に協力

―馴染地区花いっぱい運動連合会の除草活動―



市では随時、受け入れ団体・協力団体の登録受付をしています。お問合せは市民協働課 ☎ 60-1522 まで

9月9日、「馴染地区花いっぱい運動連合会」が、県道佐貫停車場線で除草活動を行いました。

佐貫停車場線は同連合会が沿道を整備し、菜の花・チューリップ・ホピー・コスモスなど季節の花々が道行く人たちの目を楽しませています。今回の除草作業には、東京電力パワーグリッド㈱竜ヶ崎支社、大和ハウス工業㈱竜ヶ崎工場の皆さんも早朝から協力してくれました。

市民活動に「協力したい団体」と「協力してほしい団体」との橋渡しを行う「龍ヶ崎まちづくり・つなぐネット」によるもので、両社は毎年活動に協力してくれています。

庄子竜樹さんがジュニアオリンピック背泳ぎで第2位

―将来の夢はオリンピック出場―

庄子竜樹さん（城ノ内中1年）が「第40回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会」で見事第2位に入賞しました。

大会は8月22日・23日、東京辰巳国際水泳場（東京都江東区）で行われ、庄子さんは100m背泳ぎ（11歳～12歳）の部に出場。決勝では「マイペースで普段の自分の力を出すことができたので、好成績につながった」そうです。

9月8日に市長室を訪れ、全国大会の結果などを報告してくれた庄子さん。当面の目標は「タイムを1秒縮めること」だそうです。また、「将来はオリンピックに出場したい」とはにかみながらも大きな夢を語ってくれました。



「将来はオリンピックに出場したい」。はにかみながら大きな夢を語ってくれた庄子竜樹さん

第8回龍ヶ崎市 ジュニア空手道交流大会



市内・外から約50人が参加した第8回龍ヶ崎市ジュニア空手道交流大会。最前列は各クラス入賞者

たつこのアリーナで「第8回龍ヶ崎市ジュニア空手道交流大会」が開催され、市内外の小中学生約50人が参加し、熱戦を繰り広げました。

フルコンタクトルールで行われる空手トーナメントで、小学生の部3クラス、中学生の部1クラスで勝敗が争われました。

この大会は東日本大震災以降、復興支援チャリティー大会として開催されており、集まった募金は被災地に義援金として送られました。各クラスの優勝は以下の皆さんです。

- 小学1・2年生の部＝針谷奈花（小学2年）
- 小学3・4年生の部＝林莉旬（小学4年）
- 小学5・6年生の部＝中澤歩夢（小学6年）
- 中学生の部＝針谷飛向（中学2年）

小中学生約50人が熱戦―

龍・流連携で救急救命講習会

―小中学校教職員など59人が参加―

8月25日、流通経済大学スポーツ健康センターで「救急救命講習会」が開催され、市内の小中学校教職員と教育相談員59人が、心肺蘇生法などを学びました。

市と流通経済大学がさまざまな分野の事業で連携し、共同のまちづくりを展開する「龍・流連携事業」の一環で、講師は同大学スポーツ健康科学部の小粥智浩教授と稲垣裕美准教授。救命トレーナー実習室での救命についての講義・ワークショップの後、同大学ライフセービングクラブの皆さんの協力も得て、心肺蘇生法やAEDの実技講習が行われました。



真剣な眼差しで心肺蘇生法を学ぶ参加者の皆さん

